

時局日誌 (四十六)

Y

H

生

六月十七日

陸軍航空工廠技能者養成所規程（陸軍省令第二二號）陸軍航空支廠技能者養成規程（陸軍省令第二三號）國民勞務手帳法施行規則（厚生省令第二四號）公布

中華國民政府主席行政院院長汪精衛氏は隨員と共に午後八時五十八分、神戸驛發一等急行で一路東上、けふ午前八時四十五分東京驛着入京した。

驛頭には近衛首相以下各閣僚、軍官民、在京華僑代表等が出迎へ、汪主席はただちに外務省差廻しの自動車で麻布狸穴の同國大使館へ入つたが、長くも天皇陛下には汪氏を中華國民政府主席の

資格において皇室の賓客として御待遇あらせられ、畏き思召を體した白根宮内次官以下接伴員は同日午後麻布の大使館に汪主席以下一行の出迎へ、かくて同四時汪主席は白根主席接伴員と宮内省差廻しの自動車に同乗、隨員、接伴員等の自動車を隨へて同大使館發、旅館にあてさせられた霞關離宮へ、晴れの賓客として迎へられた。

六月十八日

天皇、皇后兩陛下には十八日中華國民政府主席汪精衛氏と宮中において御會見、御會食あらせられ、新中國の若き盟主を元首として御歡待あらせられた。

日華協力の強化と新政府樹立に對する答禮の目的をもつて來朝した汪主席は、日華親善新東亞建設に寄せさせ給ふ大御心に感激して宮中を退出、こゝに東亞の歴史に輝かしい一頁が記録されたのであつた。

〔情報局發表〕最近蘭印を繞る情勢は客年九月以來バタヴィアにおいて續行される日蘭經濟交渉の圓滿なる進捗を困難ならしむるにいたり、六月六日和蘭側代表より回答ありたる程度の内容のものにては、此際特に國際協定となすに足らずと認め、帝國政府は今交渉を打切ることに決し、芳澤使節に對し歸朝命令を

發したり。

獨外務省發表によれば、十八日午後九時からアンカラにおいて駐土獨大使パーベン氏とトルコ外相サラジョグル氏との間に獨土友好條約が調印された。右發表内容次の通り『十八日夜獨土友好條約がアンカラにおいてドイツ政府代表フォン・パーベン大使とトルコ政府代表サラジョグル外相によつて調印された、右條約の正文は次の通りである。』

ドイツ國ならびにトルコ共和國は、兩國間の關係を相互信頼と誠實なる友情の基礎に置かんとする希望に基き、兩國の現存の諸公約を留保の上、條約締結に同意した、しかしてこの目的のため、ドイツ總統はフォン・パーベン大使をその全權に、トルコ大統領はサラジョグル外相をその全權に任命、兩人は全權として次のごとき諸條項に同意した。

第一條 ドイツならびにトルコは相互に獨立と領土の不侵略を約し直接または

間接に締約國の一方の利益に反するとき如何なる行爲もこれをなさざるとを約す。

第二條 兩國は共同利害を有つ凡ての問題につきかゝる問題の處理方法につき諒解を遂げるため將來友好的商議を行ふむねを約す

第三條 右協定は批准さるべきものとす、批准文書は即刻ベルリンにおいて交換さるべし、右協定は調印の日より效力を發生し十年間有效とす、有效期間延長の問題に關しては、時期を定めて諒解に達すべきものとす、本條約は一九四一年六月十八日アンカラにおいてドイツ語ならびにトルコ語を各々正文として二通作成さる』

六月十九日

輸出爲替豫約取扱規則（大藏省令第三二號）
國民貯蓄組合法施行規則（大藏省令第三三號）
國民貯蓄組合法取扱規程（大藏省訓令第一一號）公布

去る五日夜、わが空軍の重慶夜間空襲に際して發生した防空壕慘劇は、當時七百餘名の望息が傳へられたが、最近の情報によれば、實に一萬二千人以上の死者を出したことが判明した。

中支艦隊報道部十九日午前十時四十分發表海軍航空部隊は十八日長驅蘭州および西安を急襲したり。

六月二十日

社會保險審査會規程（勅令第七一五號）
船員保險法施行令中改正（勅令第七一七號）
農工業の販賣價格指定改正（農林省告示第四〇〇號）
電柱用材規格規程（農林省告示第四〇一號）公布

第一回中央協力會議は十六日から五日間にわたり翼賛會本部に開かれたが、二十日午後の懇談會を最後に大團圓となつた。閉會式に當り近衛總裁に代つて柳川副總裁は挨拶をのべ、次いで末次議長は次の如く會議の成果を顧みて南方問題に言及し、

一、大東亞共榮圈確立のためには萬難を排して邁進せねばならぬとの國民の決意がこの會議を通じて表明された。

と述べ、ついで翼賛會の政治力問題をもとりあげ、

二、眞摯な論議に終始したこの會議は見るものゝ襟を正さしめるものがあつたが、こゝにこそ眞實の政治性がある。と斷じ、滿場に深い感銘を與へた。

ルーゾヴェルト大統領は二十日突如として議會に特別教書を送り『ロビンムーア號撃沈事件こそドイツの世界征服に對し、米國がこれに反抗せざるやうドイツより米國に警告を發したるものである。すなはちドイツはこの事件によつて米國を脅かし、公海における米國の通商を一切遮斷しようとするのがその狙ひどころである、もしわれらがこの警告に屈従するとすれば、それは必然的にドイツの世界制覇に屈伏することとなる。われわれは絶対にこれに屈するものではない』と

相當激烈なる調子をもつて議會に對し米政府の強硬態度を表明した。

六月二十一日

カラマツ及ベイマツの販賣價格指定（農林省告示第四一〇號）
梳織織物及既製服の最高販賣價格指定（商工省告示第五三三號）
ステープルファイバー莫大小製品綿莫大小製品及人絹莫大小製品の最高販賣價格指定（商工省告示五三四號）
注文洋服等最高販賣價格及注文洋服等最高裁縫料指定（商工省告示第五三七號）
毛紡式ステープルファイバー織物（梳織織物）の最高販賣價格指定（商工省告示第五三八號）
毛織物の最高販賣價格指定（商工省告示第五三九號）
公布

六月二十二日

獨政府は二十一日ソ聯との外交關係を斷絶、ヒットラー總統は即時全國防軍に命令を發し、獨ソ國境のソ聯軍に對抗する萬全の戦備を整へた旨發表した。

二十二日午前六時シニョーレンブルグ駐

ソ獨大使はクレムリン宮を訪ね、ソソ宣戰布告に關するドイツ政府の通牒を手交した。モスクワは二十一日から大雨だが一般市民は極めて冷靜に事態の推移を見守つてゐる。

チアノ外相は二十二日早朝ソ聯大使ヲレルキン氏をキプ宮に招致し、伊政府は二十二日午前五時半よりソ聯と戰爭状態にあるものと思惟すと通告した。

獨軍は相變らず數千臺の空軍と數十萬の機甲部隊を以て空陸一體の電撃的攻撃を行ひ、ソ聯の赤軍は不意を突かれたごとく必死の抵抗をつゞけながら作戦的退却を行つてゐる。

六月二十三日

鞆劑配給制規則（商工省令第六〇號）
内地產アベマキ樹皮最高販賣價格指定（農林省告示第四一三號）、鞆劑配給統制規則第一條の規定に依る鞆劑指定（商工省告示第五四一號）
事務用木製整理器具類の最高販賣價格指定（商工省告示第五

四二號)公布

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ金鷄勳章年金令
廢止ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十六年六月二十八日

内閣總理大臣

陸軍大臣

海軍大臣

勅令第七百二十五號

金鷄勳章年金令ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十五年四月二十九日以後ノ日

附ニ係ル金鷄勳章敘賜者ヨリ之ヲ適用ス

昭和十五年四月二十九日前ノ日附ニ係ル

金鷄勳章敘賜者ニ付テハ仍舊令ニ依ル

朕金鷄勳章併佩ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ

之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十六年六月二十八日

内閣總理大臣

陸軍大臣
海軍大臣

勅令第七百二十六號

金鷄勳章併佩ニ關スル件

金鷄勳章ヲ有スル者更ニ上級ノ金鷄勳章

ヲ賜ハリタルトキハ前ニ賜ハリタル金鷄

勳章ヲ併佩スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由

金鷄勳章ヲ重ネテ賜ハリタル者ニ對シ既

ニ賜ハリタル金鷄勳章ヲ併セ佩用スルコ

トヲ得ルノ途ヲ開キ武功拔群トシテ金鷄

勳章ヲ賜ハリタルコト二回以上ニ及ブコ

トヲ勳章佩用ニ依リ明瞭ナラシメ其ノ武

功ヲ表彰スルハ武功獎勵ノ趣旨ニ鑑ミ適

當ト認ムルニ依ル

日華兩國政府は目下訪日中の國府行政

院長汪精衛氏が來る二十五日離京歸國の

途につくに先立ち二十三日午後六時半首

相官邸において伊藤情報局長總裁並びに林

柏生國府宣傳部長立會の下に日華國交史上劃期的にして最初の『近衛總理大臣、汪行政院長共同聲明』を發表した。即ち共同聲明

吾等兩名は今次の事變を速かに處理し是を契機として日華兩國永遠の關係を確立し、以て共存共榮東亞復興の共同目標に向つて邁進せんがため曩に善隣友好、共同防共經濟提携を内容とする東亞新秩序建設に關しそれ／＼聲明するところありたるが、客年十一月三十日成立の日華基本條約及び日滿華共同宣言の趣旨とするところも亦右に外ならず、抑々東亞新秩序建設の意義は東亞固有の道義的精神を基調として東亞に於ける侵略主義及び共產主義の流毒を一掃し、相互提携共存共榮の國家を建設せんとするにあり。中國民衆中には日華の合作による東亞の復興を希望しつゝも右希望が果して實現せられるや否やに關し、なほ自信を有せず依然として低徊觀望の態度を持しをるも

の勢から存するが如きところ、東亞復興の偉大なる事業は今日の段階においても出来得る限りその曙光を顯現せしめ、

大多數國民の信頼を得て銳意全面和平の實現に邁進することよりはじめてこれを達成し得べきなり、今回我等會談の結果日華兩國政府は右共同の目標に向つて一層の努力をなすべきことを誓ひたり、國民政府は政治上、軍事上、經濟上、文化上、日華提携協力の具體的事實を提供し、民衆をして日華合作、東亞復興が日華兩國國民の共同の使命なることを知らしめるに努むべく日本國政府またこれに對して一層の援助を與へ、國民政府をしてよく獨立自由の權能を發揮せしめ以つて東亞新秩序建設の責任を負擔せしめるに努力せんとす。

昭和十六年六月二十三日

近衛 文麿

汪 兆銘

DHB通信の報道によれば二十三日朝

までの戦闘において獨逸軍は空中戦または地上においてソ聯機合計五百五十臺を撃墜した。

六月二十四日

外務省では獨逸戰局の發展に鑑み、モスクワの在留邦人婦女子を滿洲里經由で全部引揚げさせることに決定、この旨二十四日建川大使にあて訓令を發した、現在モスクワにある邦人は大使館と新聞關係だけで一般の商社關係者は一人もゐない。今度引揚げるのは建川大使夫人をはじめ齋藤、大江、今井各書記官夫人等十一名ほか、數名の子女で大江書記官が同行するはず。

伊軍司令部發表左の如し。

△北阿戰線

一、獨逸空軍は二十四日トブルク周邊の英軍陣地および機械化部隊集團に對し猛爆を加へた。

一、獨逸軍はトブルク地區の掃蕩戰を進行せしめつゝあり、英戰車二百四十二

臺を鹵獲した。

△東阿戰線

一、伊軍は二十二日英軍陣地深へ突入、甚大なる損害を與へた。

六月二十五日

帶地類の最高販賣價格指定（商工省告示第五四六號）公布

日本出版文化協會では二十五日午前十時から早大隈講堂で第一回總會を開いた。

六月二十六日

畏き邊りでは今次事變に輝く武勳を殘して散つた海軍關係勇士に對し行賞の御沙汰あらせられ、支那事變第三十七回（海軍第十九回）論功行賞として二十六日賞勳局並に海軍省から發表された。今回の恩典に浴した勇士は賜杯賜金、龍崎留吉大佐（千葉）以下軍人二十名、瑞八、賜金、書記關野清藏氏（横須賀）以下軍屬七十七名計九十七名であつた。わが南支艦隊に沿岸を封鎖されさらに

汕頭と汕尾とを占據された重慶政權は物資の奥地搬入に困窮し、最近汕頭と汕尾の中間地點の神泉港に新しい密輸ルートを作成、密輸を大規模に行はんと畫策しつつあるのを知つたわが南支艦隊は先手を打つて二十六日拂曉、原指揮官の指揮により空軍と密接なる連絡の下に無血裡に聯合陸戰隊を揚陸して、敵の企圖を根柢から覆すのに成功した。

六月二十七日

耐火木材取締規則(内務省令第十九號)防毒資材取締規則中改正(内務厚生省令第一號)公布

ハンガリーは二十七日午前十時二十分對ソ宣戰を布告、つひにドイツ側に立つて對ソ戰爭に参加するに決定、次の如く發表した。『ソ聯は國際法に違反してハンガリーに對し頻々たる空襲を行つてゐるため、ハンガリーはソ聯と戰爭状態に入るのやむなきに至つた』

デンマーク政府は二十七日ソ聯との外

交關係を斷絶した。たゞしデンマークは依然非交戰國たる政策を維持する旨再確言してゐる。

ドイツの一潜水艦は二十六日アフリカ西岸においてイギリス商船五隻合計三萬四千五百トンを撃沈した旨二十七日發表された。

六月二十八日

國民更生金庫法施行令(勅令第七三一號)公布

さきの國民政府主席行政院長汪精衛氏の來訪は東亞新秩序確立に向つて日華兩國の提携協力に更に一步を進め、二十三日近衛首相と汪精衛院長の共同聲明ともなつたが、日華提携の具體化については十七日入京以來汪院長は近衛首相と三回、松岡外相と四回、またその間東條陸相、及川海相、河田藏相等とも懇談を遂げた結果、今後は一層國民政府を強化育成し、全面和平の實現に寄與し、東亞共榮圈の確立に邁進すべく、今回新たに三

億圓を限度とする借款供與をなすことに決定、二十八日午後四時政府より左のごとく發表された。

今回帝國政府は國民政府の要望に應へ、取敢ず限度三億圓の借款供與方を決定しこれが實行に於ては横濱正金銀行等においてその衝に當ることとせり。

六月二十九日

淺田部隊長を總指揮官とする海鷲の精銳は、二十九日折柄の快晴を利用して大舉重慶上空に殺到、午後一時二十分より爆撃を開始、熾烈なる敵防禦砲火を冒して城内周邊の敵軍事施設および政府諸機關に巨彈の雨を浴せてこれを爆破、十數ヶ所より大火災を生ぜしめた。また一方森部隊長の指揮する一隊は午後三時二十分黒煙消えやらぬ重慶を再び急襲、城内東部の軍事工場や倉庫群を完膚なきまでに痛撃した。

かくてわが無敵荒鷲は雲一つなき四川上空に勝鬃の翼を連ねて全機堂々〇〇基

地に凱歌をあげた。

二十六日獨軍はリスアニア東方のデュナ河を各所において渡河進撃し、ラドグイアのデューナブルグを占領した。

獨軍司令部二十九日特別發表に依れば獨ソ開戦第一日の二十二日だけで獨空軍はソ聯空軍合計二千百三十三機を撃破、そのうち空中戦および高射砲による撃墜数は三百二十二機、地上撃破数は千八百一十一機で、ドイツ側の損害は三十五機に過ぎなかつた。

獨軍司令部は獨ソ開戦第一日の空軍戦果發表に引續く第二日の経過を次のごとく發表した——第一日ドイツ地上部隊は全戦線にわたつて敵陣を突破し、敵の大隊部の攻勢に大損害を與へてこれを撃退した。二十三日夜敵は猛烈な反撃に出で兩軍の間に凄烈なる激戦を展開、遂にドイツ軍の勝利に歸し、ドイツ軍はグロドノを大激戦の後確保した。ソ聯空軍に與へた損害は、二十三日夜までに合計二千

五百八十二機に達した。

二十四日ドイツ軍は舊ポーランド國境プレスト・リトウスク、ウイルナおよびコゾフを激戦のち占領した。ソ聯軍はわが軍に對し反撃を加へ、わが後方を攪亂しわが包圍線を突破すべく無数の戰車をもつて攻撃し來つたが、わが方は戰軍隊、空軍および高射砲隊の協力によりこれを撃破した。また二十四日までの敵戰車撃破總数は地上部隊によるもの千二百空軍によるもの九十七に達した。

開戦と同時に獨海軍はソ聯海軍に對し勇敢な攻撃をなし、バルト海においてソ聯驅逐艦一隻を水雷により撃沈、巡洋艦マキシム・ゴリキー號(八、八〇〇トン)に大損害を與へ、またドイツ潜水艦はソ聯潜水艦二隻を撃沈、なほ獨快速艇はソ聯驅逐艦一隻、水雷艇一隻、潜水艦一隻を撃沈した。

二十九日のモスクワ放送によればソ聯情報局は獨ソ兩軍の損害につき左の如く

發表した。

一、赤軍飛行機八百五十機、戰車九百臺
捕虜一萬五千名

一、獨軍飛行機一千五百機以上、戰車二千五百臺以上、捕虜三萬名以上

獨軍司令部は二十九日獨ソ開戦以來の赫々たる大戦果を相次いで發表したが、二十二日より二十七日に至る六日間の戦果は捕虜四萬、撃破ソ聯機四千百七、戰車および裝甲自動車二千二百三十三臺に達し、國民を感激狂喜せしめてゐる。その後の獨軍司令部發表次の通りである。

二十二日より二十七日に至るまでの、獨ソ戦線における獨軍の戦果は莫大に上り、未だその全部を推算し得ないが、今日まで判明せるものは、開戦當初において既に四萬人以上の敵軍を捕虜とし、鹵獲品としては砲六百門以上、五十二トンの重戦車を含む二千二百三十三臺の戦車および裝甲自動車を撃破乃至破損したのみならず、莫大な對戦車砲、高射砲、機

關銃、小銃、自動車その他もこの中に含まれる譯であるが、これらは時々刻々その數を増しつゝあり、現在包圍されつゝある敵軍の投降乃至は殲滅によつて無數となるであらう。中でも獨空軍の戦果はもつとも著るしく追撃機、戦闘機および高射砲において撃破したソ聯空軍の總數は合計四千七百七機（空中戦、地上撃破をふくむ）に達してゐるが、同期間における我が方の損失は僅かに百五十機にすぎない。

六月三十日

國民更生金庫法施行規則（大藏省令第三四號）陸軍徵用規則（陸達第四七號）さつまいもノ最高販賣價格指定（農林省告示第四三一號）枕木規格規程（農林省告示第四三二號）白金製坩堝及白金製蒸汽皿ノ最高販賣價格指定（商工省告示第五六六號）公布
（東京土木出張所）内務技師 匹田敏夫
仙臺土木出張所長を命ず（二）

（仙臺土木出張所長）同 金森 誠之
下關土木出張所長を命ず
（下關土木出張所長）同 伊藤 百世
依願免本官

本三十日海軍航空部隊は島崎部隊長の率ゐる吉本、北村、花本の諸部隊を以て敵が修理に狂奔しつゝある瀧野公路上の北盤江吊橋に對し、爆撃を敢行、大なる損害を與へ全機無事歸還せり。

ベルリンよりのAP電によればミンスク陥落が傳へられたる後三十日夜には獨機甲部隊はモスクワを距る二百五十マイル以内の地點に到達したと報ぜられてゐる。

プリペット沼澤地帯の北方をプレス・リトウスクからバラノヴィツチを経て東北に向け急進中の獨軍部隊は白露舊首都ミンスクの周邊に到達、ミンスク包圍網を縮小したが、三十日夜獨軍當局の非公式發表によれば獨軍先遣部隊は三十日遂にミンスクに突入これを完全に占據

した。

伊藤情報局總裁の談によれば——今回獨、伊、ルーマニア、スロヴァキア、クロアチア諸國政府が中華民國國民政府を承認したことは帝國政府の極めて欣快とする所である。昨年三月三十日新國民政府の成立以來同政府は着々として實力を強化しつゝあつたのであるが、わが國は昨年十一月三十日の日華基本條約により率先同政府を承認し、共存共榮、東亞復興の目標に向つて邁進せんとする同政府の努力に對し極力援助を與へ來つたのである。今回獨、伊、ルーマニア、スロヴァキア、クロアチア諸國政府が國民政府を承認したことは、いまだに東亞新秩序建設の大理想に目覺めず、抗日の愚を繼續し居る分子に對し正に頂門の一針と云ふべくこれを契機として世界新秩序建設の巨歩が、さらに一步進めらるべきことを信じて疑はない。

七月一日

社會保險審査會規程施行規則（厚生省令
第三二號）鹽鮭及鹽鱈最高價格指定（農
林省告示第四三六號）清酒及合成酒の販
賣價格中改正（農林省藏省告示第五號）
タオル製品ノ最高販賣價格指定（商工省
告示第五七一號）謄寫版ノ最高販賣價格
指定（商工省告示第五七二號）公布

陸軍少將 恒 憲 王
補東部第一部隊長

陸軍中將 李 王 垠
補宇都宮師團長

陸軍中將 黒 田 重 徳
補教育總監部本部長

陸軍少將 加藤 泊 治 郎
補憲兵司令本部部長

「國民優生法」はいよ／＼今七月一日か
ら全國一齊に施行されるが、厚生省優生
課では同法適用のいはば陪審制度ともい
ふべき「地方優生審査會」設立に關する
通牒を三十日各地方長官宛に發した。

ドイツ軍ドイツ空軍は三十日東部戦線

においてソ聯機合計二百八十機を撃破し
た。そのうち空中戦において撃墜したも
の二百十六機である。なほメーグルデー部
隊長の率ゆる空軍部隊はミンスク東部に
おいて敵機百機と空中戦を演じ八十機を
撃墜、なほトラトロフ部隊長の率ゆる部
隊はデューナブルグ附近で敵飛行機四十
機を撃破したと報じた。

七月二日

粉砕用ボールノ最高販賣價格指定（商工
省告示第五七五號）炭酸カリノ最高販賣
價格指定（商工省告示第五七六號）苛性
カリノ最高販賣價格指定（商工省告示第
五七七號）炭酸ソーダ（洗ソーダ）の最
高販賣價格指定（商工省告示第五七八號）
四酸化炭素の最高販賣價格指定（商工省
告示第五七九號）麻精練開織品の最高販
賣價格指定（商工省告示第五八〇號）普
通歴延鋼材及其の半製品の最高販賣價格
指定（商工省告示第五八一號）公布
獨ソ開戦による歐洲の新情勢と變轉極

りなき國際情勢に對處し政府の毅然たる
態度をもつてこれが推移を注視すると共
に、過般來屢次に互つて首脳部間に協議
を重ねてゐたが、かくて支那事變發生以
來第四回目の御前會議は天皇陛下親臨の
下に二日午前十時宮中一ノ間に開催され
た。即ち

〔政府側〕 近衛首相、松岡外相、平沼内
相、河田藏相、東條陸相、及川海相、鈴
木企畫院總裁〔樞密院〕 原樞府議長

〔大本營側〕 杉山參謀總長、永野軍令部
總長、塚田參謀次長、近藤軍令部次長等
政府、大本營、樞府首脳部列席

現下の情勢に對處すべき重要國策につき
慎重審議を重ねこれを決定、正午歴史的
御前會議を終了した。政府は同日午後一
時半政府發表の形式をもつて帝國の毅然
たる態度を示すと共に、内閣書記官長談
をもつて御前會議の内容を左の如くそれ
／＼公表した。

内閣書記官長は左の如く發表した。本

日の御前會議は午前十時より宮中において開かれ、内閣總理大臣、外務大臣、内務大臣、大藏大臣、陸軍大臣、海軍大臣、企畫院總裁、樞密院議長、參謀總長、參謀次長、軍令部總長、軍令部次長出席し正午終了せり。

本二日海軍航空部隊は次の攻撃を實施せり。

一、島崎部隊長の指揮する吉元、北村の諸部隊はながらく天候の障りにより攻撃の機會を得ざりし雲南省昆明を急襲し、敵側重要施設たる水力發電所に對し爆撃を敢行、殆どこれを潰滅し全機無事歸還せり。

二、淺井部隊長の率ゐる牧、平久江の各部隊は敵空軍基地雲南省碧益、東川、尋甸を急襲せるも敵機は逸早く遁走姿を現はさず、諸施設に銃撃を加へ全機無事歸還せり。

獨軍最高司令部は二日夜特別發表によつて獨ノ開戦以來一日に至るまでの綜合

戰果を發表した。それによれば飛行機撃破四千七百二十五機、その中空中戦によるもの一千三百九十二、地上爆撃によるもの三千二百二十一、高射砲によるもの百十二、戰車撃破および鹵獲五千七百七十四、大砲高射砲等の鹵獲二千三百三十の多無數の機關銃、小銃を鹵獲した。赤軍の捕虜は約十六萬、戦死者に至つてはその數倍に上つてゐる。これに對し獨軍の戦死は豫想以上に少かつた。さらにピアリストツク東部における大殲滅戦は世界歴史にかつて見ざる大規模の決戦で、赤軍は言語に絶する一大混亂に陥つた。この決戦における捕虜ならびに鹵獲武器の正確な數字をあげるには數週間を必要とするほどの多數に上つてゐる。

獨軍司令部二日正午特別發表。

一、獨軍はピアリストツク東方地區において包圍せる赤軍を殲滅した。その擧げた。戰果は捕虜十萬、戰車四百、砲三百門に達した。

二、一日のレンベルグ附近の戰車戦において獨軍はソ聯の戰車、裝甲車二百二十臺を捕獲しまたは破壊した。

獨軍司令部二日發表によればプリベツト南部グロゾフの戰車戦で獨軍はソ聯戰車百臺を破壊、ツプー地區で百二十臺を捕獲した。

七月三日

スターリン・ソ聯首相は三日午前ソ聯國民に、ラジオを通じて次のごとく呼びかけた

今回のドイツとの戦ひは諸君の祖國の戦ひである。またこれはドイツによつて奴隸化された諸民族並にドイツ民族を解放せんがための戦ひでもある。

七月四日

貸家組合登記令（勅令第七四〇號）有價證券外務員取締規則（商工省令第六一號）有價證券業取締法施行規則中改正（商工省令第六二號）蔬菜及果實類最高販賣價格指定（農林省告示第四四二號）公布

帝都高速度交通營團總裁 原 邦造

副總裁 喜安健次郎

理事 片岡 譚郎

外 十名

監事 安岡 正光

外 四名

評議員 企畫院次長 柴田彌一郎

内務省計畫局長 藤岡 長敏

内務省土木局長 成田 一郎

地方局長 留岡 幸男

外 二十四名

大本營陸軍報道部では四日午前本年上半年の十二大作戦の結果について發表を

おこなつたが、ひきつゞき同日午後五時

第二の發表としてこの十二大作戦の具體

的な綜合戦果を發表し、十九萬千七百の

遺棄死體と八萬四千七百の俘虜といふ大

戦果をあげたにたいし、我方の戦死はわ

づかに五千百十九、彼我兵力の損害の比

率は三十七對一といふ驚異的な結果であ

ることを發表した。その他鹵獲品も多數

で、重、輕機關銃、小銃の鹵獲は合計し

て五萬といふ數に上つてゐる。これに反

して重、野、騎山砲は百一といふ數字で

支那軍の裝備が如何に救ふべからざる程

に劣弱となつてゐるかを現實に立證して

ゐる。

近藤部隊長の指揮する海軍航空部隊は

本日第十五次重慶爆撃を敢行した。また

他の一隊は四日早朝梁山を空襲して敵の

航空施設に重大な損害を與へた。

七月五日

貸家組合法施行規則（厚生省第三四號）

公布

大本營陸軍報道部發表

聖戰四年の間に皇軍の獲得せる戦果は

左記の如く莫大なる數に上つてゐる。重

慶側は敗戦につぐ敗戦を以てすること四

年、戦力戦意共に低下し軍隊、民衆に抗

戦を呪詛するもの次第に多く、今や軍事

方面は勿論政治的にも破綻に瀕しつゝあ

る狀況である。これに反し我方の政治、

經濟、文化各方面における建設工作は一

大進展を遂げ、建設戦における戦果も眞

に偉大なるものがある。

一、事變發生以來滿四年間敵に與へた損

害の綜合（自昭和一二、七至昭和一六、

六）敵の遺棄死體約二百一萬五千

敵軍に與へたる損害は死傷、逃亡、捕

虜投降等總計約三百八十萬と判斷せら

れ、現在は支那軍一個師約七千人である

から凡そ五百四十個師を潰滅したことに

なる。

鹵獲品

各種兵器 四十八萬二千二百五十七點

戰車、裝甲車、自動車二千四百七十五點

機關車、客車、貨車 二千四百四十九點

般艇 四百十點

二、先般中原會戦においてわが軍に捕へ

られたる重慶軍令部參謀瀧大尉の計算

によると、右各種兵器數は現在の支那

軍百五十個師分に相當し、また戰車、

裝甲車、自動車數は、現在支那軍中唯

一、機械化部隊たる第五軍杜聿明の指揮する部隊の四倍の數量に相當することである。重火器、自動車、輪轉材料を第三國に依存して居る敵軍としては、重要兵器資材の大部分を喪失した譯で、しかもこれらは兵員と異り、補欠困難勢力挽回の見込は全くないと見るべきである。

三、航空部隊の戦果

敵に與へたる損害（ノモンハン事件を含む）撃墜一七四四、爆破二二三、計一九七七、我が損害、自爆二〇三（ノモンハン事件を含む）

四、この間我方は張鼓峰、ノモンハン事件を合して十萬九千二百五十の尊き犠牲者を出してゐることは痛惜に堪へない處である。此處に聖戰四年の記念日を迎ふるに當り國民各位と共に護國の英靈に對し深甚なる敬意と感謝を捧ぐる次第である。

本五日電海軍航空部隊は島崎部隊長の指

揮する諸部隊を以て昆明北方十キロの次に敵が新設せる大兵工廠に對し爆撃を敢行、大なる戦果ををさめ全機無事歸還せり。

七月六日

國內興亞諸團體の統合は、六月十日の閣議決定に基き、大日本興亞同盟を設立することとなり、大政翼賛會東亞局において、思想啓蒙運動團體、事業團體、學術研究團體等に對し、加盟方折衝中のところ、日滿中央協會外五十三團體の加盟を得たのでいよ／＼六月午後一時から日比谷公會堂で結成大會を開催、翌七日の支那事變四周年記念日には、東京市内五箇所で演説會を開催して、發足の第一聲を擧げ、國內興亞運動の統一ある活動を展開することとなつた。

七月七日

所得稅施行細目中改正（大藏省第三八號）
貸家組合及貸室組合登記取扱手續（司法省令第七〇號）
貿易統制令施行規則中改

正（商工農林兩省令第一〇號）公布

今次事變に参加し赫々たる武功を樹てた英靈に對しては、すでに數次にわたつて恩賞の御沙汰あらせられたが、畏き邊りでは、今回さらに生存者の上にも行賞の御沙汰あらせられ、事變勃發第四周年記念日の意義ひとしほ深き七日、第一回支那事變生存者論功行賞として賞勳局ならびに陸海軍兩省から發表された。今回の恩命に浴したものは、陸軍では大陸の各戦線で奮闘した七田（川岸、牛島（實））部隊および吉住部隊の將官を除く軍人、軍屬である。海軍ではすでに現役を離れた者、召集解除者および昭和十五年四月二十九日以後の死没者を主とした約一萬七千名である。この度の行賞は金鷄勳章制度改正後初の適用をうけるもので、金鷄勳章拜受の光榮に浴したものは陸軍では功三旭三の岩切秀大佐以下百九十七名の殊勳甲組を筆頭に千八九名、海軍では功三旭四の小谷雄二少佐以下三氏の優賞

者以下四十六名に上つてゐる。

陸軍中將正四位勳一等 多田 駿

陸軍中將從三位 勳一等功三級 板垣征四郎

任陸軍大將

陸軍大將 中村孝太郎

陸軍大將 多田 駿

補軍事參議官

陸軍大將 板垣征四郎

補朝鮮軍司令官

陸軍中將 後宮 淳

補支那派遣軍總參謀長

陸軍大將 岡村 寧次

補北支派遣軍最高指揮官

陸軍少將 中 永太郎

補陸軍歩兵學校長

事變滿四箇年を迎へ本七月七日海軍航空部隊は主力をもつて第十八次重慶空襲を決定したるをはじめとし、倍州、奉節、

歸州、三斗坪、新灘町、桐城を爆撃軍司令部、軍需資材補給施設などに甚大なる

打撃を與へたり。

ルーズヴェルト大統領は七日特別教書を以て海軍がアイズランドに進駐せる旨を發表した。教書要旨左の通り、

米海軍はアイズランドに於る英守備隊との補充交代のため同島に進駐した。右はルーズヴェルト大統領とヨナソン・アイズランド大統領との間の完全な諒解に基くものである。米政府はナチ勢力が大西洋の前哨地點を西半球攻撃のための海軍基地として占領する危険を看過することは出来ない。一度アイズランドがナチの勢力下に占領された場合は第一にグリーンランド北米大陸の北方地域が脅威に曝され、第二に大西洋北方航路は危殆に瀕し、第三に援英武器輸送路が脅かされるの結果を生ずる。米政府はその海軍をしてアイズランドに進駐せしめたが、大西洋の主權所在現況に何らの變更を加へる意圖も有するものではない。

七月八日

連日にわたり重慶攻撃中の海軍航空部

隊は七日再び重慶夜襲を敢行、相次いで西郊の軍事施設に巨弾を投下、その大半に潰滅的打撃を與へたり。

森部隊長を總指揮とする部隊海鷲は八日大舉して第二十次重慶爆撃を敢行した。午前十一時四十五分重慶上空に突入したわが海鷲の大編隊は、昨夜の夜間爆撃で今なほ猛烈に燃え續けてゐる重慶西部郊外を眞下に見ながら、西方十二キロの浮圖關を急襲、參謀本部その他重要軍政機關および軍部要人官舎などの密集地帯に巨弾の雨を浴びせてこれを爆撃、數箇所より大火災を起させた。かくて敵抗日陣營の牙城を徹底的に震駭せしめ、敵が死物狂ひで射出す高角砲を尻目に全機悠々四川上空の亂雲をついて〇〇基地に歸還した。

獨軍當局の發表によればスターリン線の戦闘は各所においてソ聯軍のトーチカは撃破占領せられつゝあり、ドイツ軍は砲撃の後、工兵隊を先頭に赤軍トーチカ

に近接、火薬を仕掛けてこれを爆破するといふ肉薄戦法で成功しつゝある。

七月九日

保障及政治的了解ニ關スル日本國「フランス」國間議定書(條約第八號) 保障及政治的了解ニ關スル日本國「タイ」國間議定書(條約第九號) 國境劃定委員會ノ構成及運用ニ關スル議定書(條約第十號) 非武装地帯ニ關スル規定ノ履行ニ關スル議定書(條約第十一號) 佛領印度支那ニ關スル日佛居住航海條約(條約第十二號) 日本國印度支那間關稅制度、貿易及其の決濟の様式に關ル日佛協定(條約第十三號) 公布

九日英官邊はシリアならびにレバノン駐在佛高等辦務官ダントツ將軍は英國政府に休戦申入れを行つたと言明した。當地消息筋は英政府が右申入れを歓迎してゐると傳へてゐる。

七月十日

暴利行爲等取締規則中改正(商工農林省

令第一一號) 保健婦規則(厚生省令第三六號) ノートノ最高販賣價格指定(商工省告示第六〇六號) 公布

政府は世界情勢の緊迫化に對應する帝國不動の重要施策を附政陣營に反映させ、一德國民の難局に處する心構へと奮起を促すべき適切なる措置を考究してゐたが、これが第一着手として、内務省主唱の下に内閣情報局、陸海軍兩省共同主催で全國八プロツクに分けて、今月下旬より順次地方長官會議を開催することゝなつた。この長官會議は現在の地方連絡協議會制を利用する方針で、中央部より陸海軍兩省、情報局、内務省等各關係官廳首腦部出席して各府縣知事、警察部長等に對して支障なき限度において中央の決意並に重要施策を傳達するとともに地方の實情を聴取し、國論の統一、國內態勢整備を期することとなつた。この新しい形式によるプロツク別長官會議開催地方及び開催幹事縣は左の通りである。

東北(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、北海道―宮城) △關東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、警視廳―東京) △東海(岐阜、靜岡、愛知、三重―愛知) △北陸(新潟、富山、石川、福井、長野―新潟) △近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山―大阪) △中國(鳥取、島根、岡山、廣島、山口―廣島) △四國(徳島、香川、愛媛、高知―愛媛) △九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿兒島、沖縄―福岡)

淺田部隊長を總指揮官とする各部隊海鷲は十日大舉して三隊に分れ第二十一次重慶空襲を敢行した。午後三時三十分相前後して重慶上空に殺到した海鷲は、軍政重要機關および軍部要人官舎の立並ぶ浮圖關および城内殘存軍事重要施設ならびに重慶の揚子江對岸の敵高角砲陣地、軍需工場地帯たる彈子石を急襲巨彈を連續浴せてこれを完膚なきまでに爆撃、數

ケ所より大火災を起させた。かくて全機堂々の戦果ををきめて〇〇基地に歸還した。

世紀の覇業遂になる！工を起して五年有餘、わが國鐵技術陣が科學日本の榮譽にかけて急潮の海底トンネルの大工事は十日遂に輝かしき成果を遂げ貫通の凱歌を擧げた。この日午前十時まづ釘宮下關工事事務所長は電鍵一觸下關側最後の孔を開け、續いて同十一時鐵道大臣室からの貫通電鈴を合圖に倉田建設局長が門司最後のボタンにより全通の孔を開け、歡呼の裡に下關から門司へ……かくして世界に誇る海底トンネルは遂に貫通した。門司側シールド部分の變成岩層に横二メートル、縦二メートルの大孔があいた。世界土木工學史上不滅の金字塔は打建てられ、本州と九州は海底下でしっかりと握手したのである。

日蘭會商の帝國代表として舊蘭蘭印に使ひし、多難な交渉と炎暑と闘ふこと約

半歳、つひに交渉を打切つて引揚げた特派使節芳澤謙吉氏は、十日午後三時廿四分東京驛着の特急富士で帝都入りした。獨軍はビアリストツク、ミンスクの二

重作戦によつて最大の物質戦、包圍戦を完了した。ソ聯軍は三十二萬三千八百九十八名がわが方の捕虜になつたが、その中には軍司令官、師團長も數名含まれてゐる。戦車および裝甲自動車三千三百三十二、大砲千八百九と、巨大な數量の他の武器を鹵獲または破壊した。かくて東部戦線における今日までのソ聯軍捕虜は總計四十萬以上に達し、鹵獲または破壊した武器は戦車および裝甲自動車七千六百十五、大砲四千四百二十三である。またソ聯軍は今日まで六千二百三十三臺の飛行機を失つた。

七月十一日

小麦粉等製造配給統制規則（農林省令第五八號）生絲配給統制規則中改正（農林商工省令第一一號）公布

内閣に於ては「財政金融基本方策要綱」を決定し、大藏省をして發表せしめた。斯くて自由主義的基調を離脱し國家資金計畫を設定するに至つた。

國際情勢緊迫に對應する帝國不動の重大施策を傳達すべきプロツク別地方長官會議の開催日程については、内務省と内閣情報局との間に打合中であつたが、情勢の推移に鑑み急速に開催することとなり、左の通り日程および開催場所を決定した。なほこの地方別長官會議は去る四月の恒例全國地方長官會議席上、武井山口縣知事等より「政府は速かに重要施策を地方に傳達されたし」との要望に基くもので、今後とも隨時必要に應じてこの種の會議を開催する方針である。

東北、北海道十六日午前十時仙臺△關東、北陸十四日午後一時東京△東海十五日午後静岡△近畿十七日午前大阪△中國、四國十六日午前廣島△九州十六日午前福岡

十一日午後六時半の特別放送により、
ソ聯國防委員會は三人の總軍司令官を任命した旨發表した。北西戰線總司令官ウ
オロシエロフ、西部戰線總司令官チモ
シエンコ、南西戰線總司令官ブジョンヌ
イ

七月十二日

帝國石油株式會社法施行令（勅令第七四
九號）陸軍機甲整備學校令（軍令陸第一
四號）陸軍科學校令（軍令陸第一五號）
公布

情報局發表 我政府の調停により成立
した佛印、タイ國境紛争解決の佛、タイ
兩國間平和條約は七月五日批准交換を了
したが、その條約の規定により現地につ
き具體的に國境を畫定するため、三國か
ら各委員五名を出し、國境畫定委員會を
構成することとなつてゐるので、今回わ
が政府においては別項の通り外務、陸、
海軍から銓衡した委員五名、補助委員五
名を任命した。右委員一行は隨員以下を

帶同、近くサイゴンに赴き、佛、タイ兩
國委員と會合して事業計畫を樹て現地圖
境畫定事業に着手し、一年以内に完了す
べき規定である。混合委員會の議長は條
約上日本側首席委員矢野前公使がその任
に當るわけである。
國境畫定委員

- 從三位勳二等 矢野 眞
- 外務書記官 井上 豪
- 陸軍大佐 馬奈木 敬
- 陸軍中佐 岩橋 一男
- 海軍大佐 池田 人
- 領事 高嶋 唯之
- 陸軍中佐 竹内 薫
- 陸軍少佐 飯野 松一
- 海軍中佐 佐々木高信
- 海軍機關中佐 石田 太郎
- 補助委員

七月十三日

十二日モスクワにおいて締結を見た英
ソ軍事同盟條約の内容は、對獨戰に當り

英ソ兩國の相互援助義務と單獨不講和の
原則を協定したもので、批准をまたず調
印と同時に即時效力を發生するものであ
る。
英國大使館では十三日午後十時半英ソ
共同動作協定が昨十二日夜モスクワにお
いて署名せられた旨發表した。
獨軍最高司令部十三日正午發表によれ
ば、

- 一、モルダヴィア地區に作戦中の獨羅聯
合軍は廣大なる戰線において敵軍をド
ニエストル河岸、および同河以北の線
まで後退せしめた。
- 一、ガリシア地區においては獨、スロヴ
アキア、洪聯合軍は退却する敵軍を追
撃中。
- 一、ドニエストル河東北方に進撃した獨
軍はキエフ（ウクライナ首都）に向つ
て進撃中。
- 一、プリペツト濕地帯の北方地區におい
ては獨軍はドニエプル河岸に沿ふ敵の

強力な要塞線を占領した。

一、我軍進撃線の中央部はミンスク東方二百キロの地點に到達した。

一、ウイテプスク（ミンスク東北方二百三十キロ）は十一日以來獨軍の手中にあり。

一、バイブス湖東方に出た獨機甲部隊はレニングラードに向け進撃中。

一、我が機甲部隊の作戦繼續に必要な補給基地はすでにスターリン線まで移動せり。

一、敵軍部隊の多數はすでに分裂、崩潰の兆を示してゐる。

一、獨空軍はすでにソ聯鐵道網を完全に破壊し、今後の大規模反撃を不可能ならしめた。

十三日ロイター通信社アツカ（パレスチナ）電所報によれば、シリアにおける英佛紛争に關し、英、フ、ゴール聯合軍とウイシー政府兩代表の間に十二日午後十時四十分休戦文書の署名を完了したと。

十二日夜總統大本營から發表された獨軍のスターリン線突破を機會に、ドイツ軍事消息道は獨ソ戦局の歸趨がすでに決定せんとしつゝあるとして左のごとく論じてゐる。

一、プリペット濕地帯以南の戦線におけるドイツ軍は全線にわたつて前進してゐるが、特にガリシア方面の部隊はもつとも前進し、キエフの陥落は時間の問題となつてゐる。

二、プリペット濕地帯以北の戦線は東部に向つて深く進入し、前線部隊はウイテプスクを抜き、ドニエプル河を突破して早くもスターリン線より百キロ東部へ前進してゐる。ウイテプスク、モスクワ間には最早強力なる防衛線がないので、獨軍の前進速度はいよゝ／＼スピードが加はるであらう。獨軍は舊ポランド國境からモスクワにいたる戦線の半をすでに突破したことになる。

三、沿バルト戦線には果敢な進撃がつ

きレニングラードは今や直接的脅威に直面してゐる。

十三日夕刻入手せる報道によれば、スターリン線を突破せる獨軍戦車部隊は、後方地域に二十五キロの深さに進入した。またソ聯軍百六十五臺の戦車を鹵獲するひは破壊した。

ドイツ官邊は十三日夕刻左のごとく發表した。

十二日東部戦線において獨空軍はソ聯機百四十七を破壊した。内機八十八機は撃墜、五十九は地上において破壊された。獨空軍は地上の戦闘にも協力、戦車七十七、トラツク四百臺および數個の輸送列車、砲三十四を破壊した。獨側には害損はなかつた。

七月十四日

鑄鐵管ノ最高販賣價格指定（商工省告示第六一五號）公布

七月十五日

押角ノ最高販賣價格指定（農林省告示第

四九二號) 昭和十六年二月商工省告示第一四三號(靴類ノ販賣價格) 中改正(商工省告示第六二〇號) ストリブノ最高販賣價格指定(商工省告示第六二一號) 公布

舊東京市内に於ける地下高速度交通事業の帝都高速度交通管團への譲渡並に舊東京市内路面交通事業の東京市への統合命令が七月十五日附で發令せられた。

七月十六日

大藏省會社部臨時設置制(勅令第七五七號) 財務局官制(勅令第七六〇號) 預金資金局官制中改正(勅令第七六三號) 財務局官制第一項ニ依り財務局ノ出張所ヲ置ク(大藏省告示第二六二號) 公布

任預金部長官 主計局長 谷口 恒二
任主計局長 駐支財務官 木内 四郎
任會社部長 理財局事務官 山住 克巳
近衛内閣は十六日午後内閣總辭職を決定した。獨ソ開戦にともなふ新情勢ならびに、變轉極まりなき國聯情勢に對懸す

べき帝國の毅然たる態度すでになり、一方重要國策については去る二日の御前會議で決定を見る等、難局突破の態勢は完備したが、近衛首相はこの未曾有の重大時局に對し、まず國策の遂行を活潑ならしめんがためには先づ國內態勢の急速なる整備強化を必要とし、これがためには内閣の構成にもまた一大刷新を加ふることの必要を痛感し、この際總辭職を執行することを決意し、

十六日午後六時半首相官邸に臨時閣議を開き、近衛首相ほか各閣僚(松岡外相は病氣のため缺席)出席、劈頭首相より總辭職を決意するにいたつた事情を述べて各閣僚の承認を求めた、これに對し各閣僚とも異論はなかつたので、近衛首相は各閣僚の辭表を取纏め、同七時半一旦閣議を散會して首相官邸を出て自動車にて葉山に赴き、同九時御用邸に伺候、天皇陛下に拜謁仰付けられ、内閣總辭職執行に至る經緯を委曲奏上の上、全閣僚の辭

表を閣下に捧呈骸骨を乞ひ奉つた。政府は十六日の臨時閣議で總辭職執行をなした後左の政府發表をなし今回の舉に出づるに至つた所信を聲明した。

現内閣は昨夏大命を拜して以來閣内一致内外諸般の施策に最善の努力を致したつたのであるが、變轉極まりなき世界の情勢に善處してまず國策の遂行を活潑ならしめんがためには先づ國內態勢の急速なる整備強化を必要とし従つて内閣の構成もまた一大刷新を加ふるの要あることを痛感しここに内閣總辭職を執行することとなり、近衛内閣總理大臣は本日臨時閣議において閣僚の辭表を取纏め午後九時葉山御用邸に伺候して、これを御前に捧呈した、陛下よりは何分の沙汰あるまで國務を見よとの優詔を賜はつたので近衛内閣總理大臣は恐懼して御前を退下し、待機中の各閣僚に報告した。

參議久原房之助氏は舊政黨の因縁を解消する爲めに内閣參議の職を辭した。